

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	生体分析検査化学実習 (Practicum of Laboratory Biochemistry and Bioanalysis)		
ナンバリングコード	S30319	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 応用レベル / 臨床検査学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S007951	クラス名	-
担当教員名	日下 雅友、菅崎 幹樹		
履修上の注意、 履修条件	生体分析検査化学の講義を受講していること。 履修にあたり以下の点に注意してください。 ①指定教科書を購入し、予習復習に活用する。 ②欠席した場合には配布資料を受け取りに担当教員のところに行くこと。 ③確認テストのための予習をすること。		
教科書	臨床検査学実習書シリーズ 臨床化学検査学実習書（日本臨床検査学教育協議会 監修、医歯薬出版） 最新臨床検査学講座 臨床化学検査学（浦山修 他編、医歯薬出版）		
参考文献及び指定図書			
関連科目	生体分析検査化学		

○基本情報		
授業の目的	血液・体液など臨床材料中の各種成分について、 ① 検体の取り扱い、測定反応系の原理や特徴、測定項目の臨床的意義について理解を深める。 ② 臨床化学検査の主な技術を体験し会得する。 ③ 試薬の調製方法および測定法の評価方法を理解する。 を目的として知識と考える力を身に着け、実践できる力を身に付けてもらいます。	
授業の概要	血液・体液など臨床材料中の各種成分(酵素、糖質、タンパク質、抗原・抗体など)について、免疫・化学的手法により定量を行い、その値を解析し、臨床的意義を考察する。また、疾患から見た臨床検査項目を学び、さらに、検査値解析のための統計学的処理方法の基礎を身に付ける。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験・実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】	生命に対する尊厳と人権を尊重し、豊かな人間性を備え、人間相互の理解のもとに、倫理観に基づいた責任ある行動ができる。		30点	
【ディプロマ・ポリシー2】	医療産業人としての幅広い教養を身に付け、医療現場や様々な関連職域において、医療技術の知識と技能を活用することができる	60点		
【ディプロマ・ポリシー3】	他者と協力し、相手の立場に立つた共感力を身に付け、チームの中で協調して行動し、チーム医療実践のための問題解決力、多職種とのコミュニケーション力やプレゼンテーション能力を身に付けている。		10点	
【ディプロマ・ポリシー4】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○実習に関連した提出物についても、評価対象となりますので注意してください。 ○レポートについては、次回以降の実習内でお適宜行うこととする。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	生体分析検査化学実習 (Practicum of Laboratory Biochemist 日下 雅友、菅崎 幹樹	授業コード	S007951
学修内容				
1. ガイダンス、基本操作 ガイダンス・ピペット操作、機器操作				
予習	ピペット操作、機器操作について予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
2. 無機質の検査 無機質：o-CPC法 リンモリブデン酸還元法				
予習	o-CPC法 リンモリブデン酸還元法について予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
3. 糖質の検査 糖質：GOD法、GTT、HK法				
予習	GOD法、GTT、HK法について予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
4. タンパク質の検査1 タンパク質1：ビウレット法、BCG、ブラッドフォード				
予習	ビウレット法、BCG、ブラッドフォードについて予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
5. タンパク質の検査2 タンパク質2：電気泳動、SDS-PAGE				
予習	電気泳動、SDS-PAGEについて予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
6. 非たんぱく性窒素の検査 非タンパク性窒素：ヤッフエ法、ウレアーゼ・インドフェノール法				
予習	ヤッフエ法、ウレアーゼ・インドフェノール法について予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
7. 脂質の検査1 脂質1：総コレステロール法、TG測定				
予習	総コレステロール法、TG測定について予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間
8. 脂質の検査2 脂質2：電気泳動法、薄層クロマトグラフィー				
予習	電気泳動法、薄層クロマトグラフィーについて予習する。			2時間
復習	実習内容をレポートにまとめる。			2時間

○授業計画		科 目 名	生体分析検査化学実習 (Practicum of Laboratory Biochemist)	授業コード	S007951
		担当教員	日下 雅友、菅崎 幹樹		
学修内容					
9. 酵素活性1					
酵素1:LD活性					
予習		LD活性について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
10. 酵素活性2					
酵素2:LDアイソザイム					
予習		LDアイソザイムについて予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
11. 自動分析法					
自動分析装置:検体サンプルによるの状態による測定値の影響					
予習		検体サンプルの状態による測定値の影響について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
12. 高速液体クロマトグラフィー					
HPLC:ビタミン同定					
予習		HPLC、ビタミン同定について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
13. 生体分析検査と疾患1					
症例研究1					
予習		生体分析検査と疾患について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
14. 生体分析検査と疾患2					
症例研究2					
予習		生体分析検査と疾患について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
15. 生体分析検査と疾患3					
症例研究3					
予習		生体分析検査と疾患について予習する。			2時間
復習		実習内容をレポートにまとめる。			2時間
16. 期末試験					
予習					
復習					